



贄





あんた達！
まーた小咲を
からかってたでしょ！

そんな怒ってばかりいたら
俺のばーちゃんみたいにな
皺だらけになっちゃうぞ！

いってーな！
殴ることねーだろ
春姉！



なんだってえ！？

逃げろ！！





春姉ちゃん
強いし綺麗だし
流石村の「巫女」に
選ばれただけはあるよ!



ありがとう
春姉ちゃん!

ったく
アイツら...



巫女に選ばれるって
凄い事なんだよね?
私達がたくさん
ご飯食べれるのも
巫女に選ばれた人の
おかげだからって聞いたよ!

私も大きくなったら
春姉ちゃんみたいに
巫女に選ばれるような
お姉ちゃんになりたいなあ



え?

巫女なんて...
そんな大したものじゃないよ

それに小咲なら
巫女にならなくても
私なんかよりずっと
素敵なお姉ちゃんになれる！

あの男の子達にも
負けないくらい強くなれる！

だから…
周りに流されずに
自分の信じる道を往くんた

大丈夫
私はいつでも
小咲の味方だから…

…うん！

「巫女」…
この子には
そんなものにな
って欲しくない

一三か月前より
この辺一帯の草木が
枯れはじめてきたとの
報告により

新しい巫女として
春には本日より役目を
全うしてもらう事になるが

私はこの村の巫女の役割を
「幼少の頃」に見ているから
自分が選ばれた時は
この村を出ていこうかと
最初は考えていた

けれど私が居なくなったら
違う子が代わりの巫女に
仕立て上げられるだけだと気付いて
出て行くことを思いとどまった

春：
お前は幼少の頃から
気の強い子だとは
思っていたが…

巫女に選ばれても
少しも取り乱さなかった娘は
少なくともワシが見てきた中では
お前が初めてだよ

…ワシらとしては
余計な手間をかけずに済んで
助かるがな

まだ年端もいかぬ子以外
この村に住む者なら
巫女の役目は聴いていよう？

結局私は
流れに逆らえなかった…

覚悟は
出来ています！

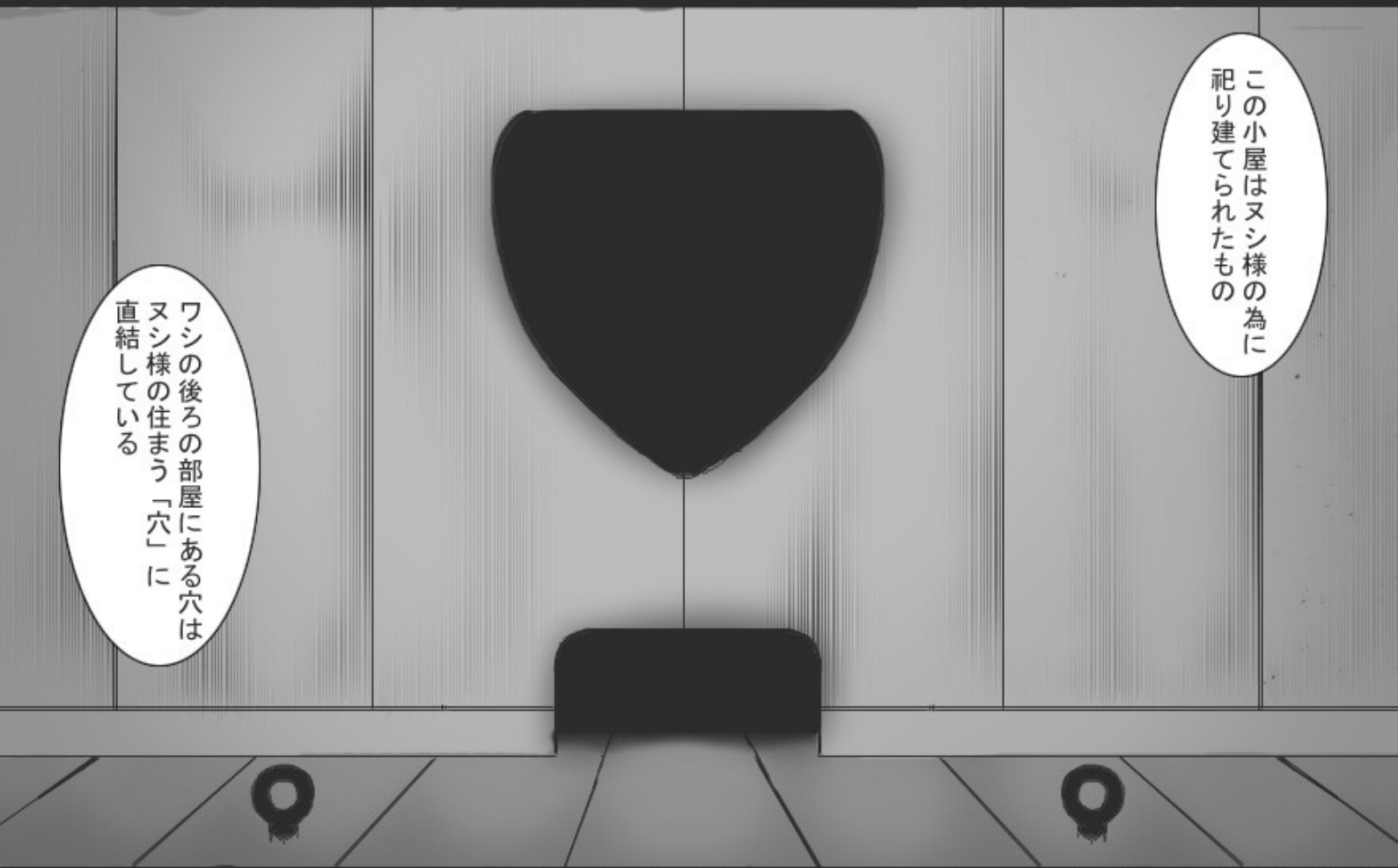
…そうか





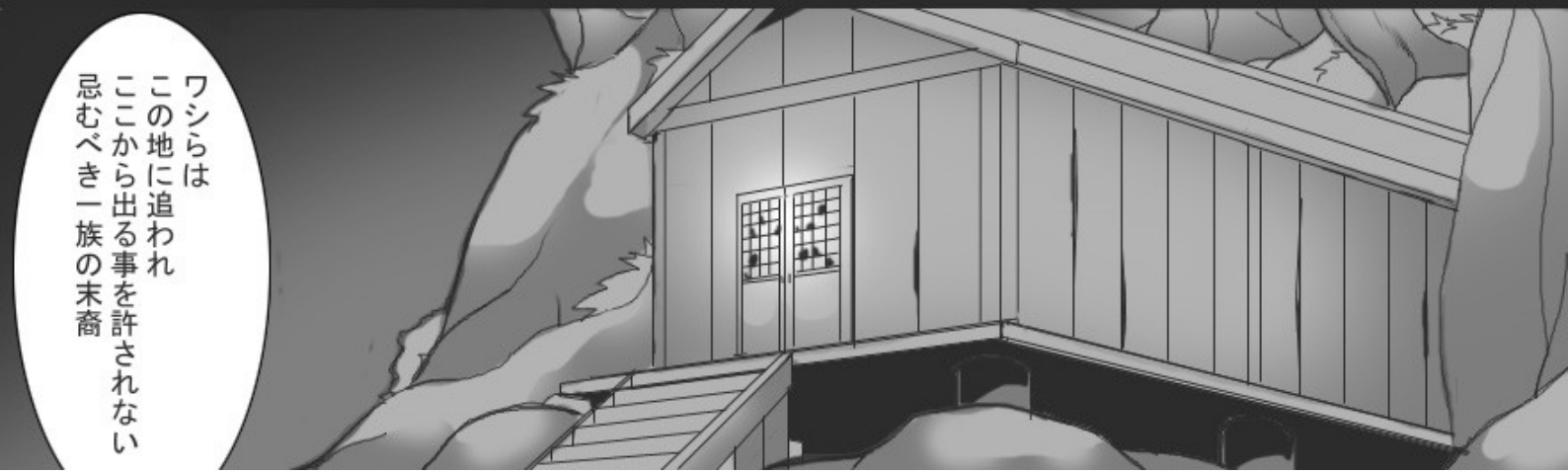
ならば早速
始めようか

この地が
豊かな地であり続ける為に
又シ様にお前の「乳」を
委ねてもらおう




この小屋は又シ様の為に
祀り建てられたもの

ワシの後ろの部屋にある穴は
又シ様の住まう「穴」に
直結している




ワシらは
この地に追われ
ここから出る事を許されない
忌むべき一族の末裔

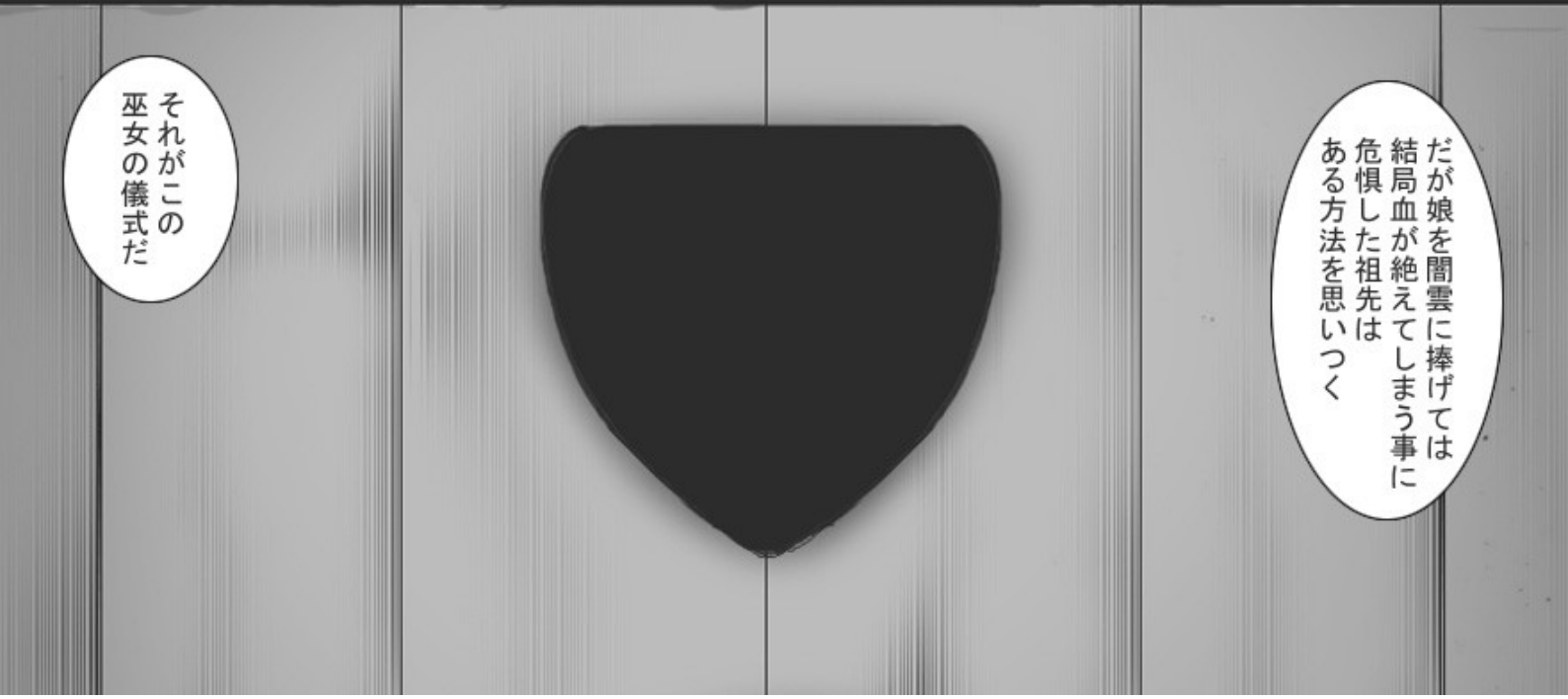


本来この地は作物も育たない
荒れ果てた地であり
ワシらの祖先は滅びる以外に
道は無かった

だが祖先が
この山に住まうヌシ様と
邂逅する事で事態は一転した



ヌシ様は人の母乳を啜る事で
荒れ果てた地を「一時的に」
作物が良く育ち動物も寄り付く
良く肥えた地に変異させる
特異な力を持っていたのだ



だが娘を闇雲に捧げては
結局血が絶えてしまう事に
危惧した祖先は
ある方法を思いつく

それがこの
巫女の儀式だ

…怯えているのかい？
言うてお前は初夜だからねえ

大丈夫…この儀式は
下手な真似をしなければ
死ぬことは無い

無為に「死なさない」為に
祖先はこの方法を
思いついたからね

…さあ
覚悟が出来てるなら
羽織ってる物を脱いで
奥に行きな



この地より他に
行く宛の無い我らの為に
暫く体を張っておくれ



正面に二つある穴の上部のほうに
乳を外部に突き出すように
身体を押し当てるんだ



お前の手足に
今から巻かれる縄は
「お前の身の為に」巻く
拘束縄

ギ

グ

どんなに表面上強がっても
行為が始まれば
身体が拒絶反応を起こし
身を引こうとしてしまうだろう



穴の奥へと
連れ去られてしまう
事案があつてな



過去に何人かが
又シ様の行為を拒み
身を引いたことで
又シ様の怒りを買ひ



うっ……
ぐっ……

よいか？
そうなりたくなくば
何をされようとも絶対に
その突き出した乳を
引っ込めてはならぬぞ



又シ様に
全て委ねるのだ

又シ様に…



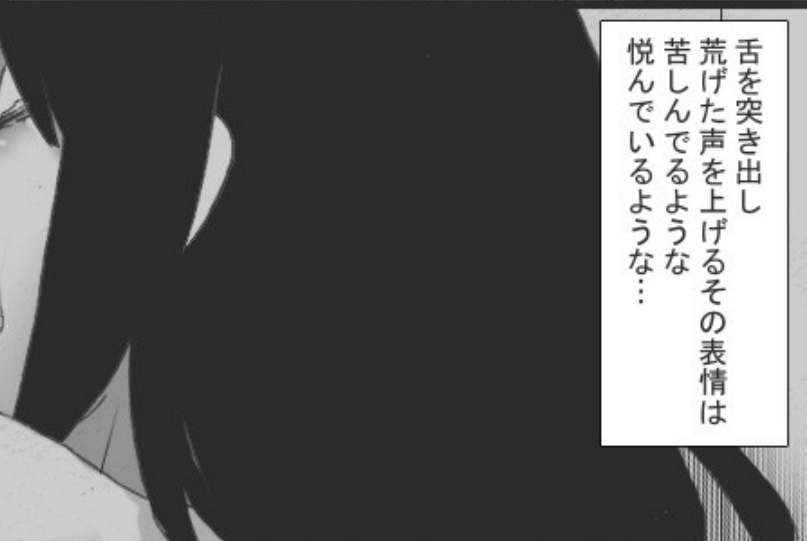
そこには又シ様に
身体を委ねて悶えてる
先代の巫女の姿があった



幼少の頃巫女の儀式が
どんなものなのか見たくて
こっそり外から覗いた時



とにかく当時の私はその姿が
怖くて仕方なかった



舌を突き出し
荒げた声を上げるその表情は
苦しんでるような
悦んでいるような…



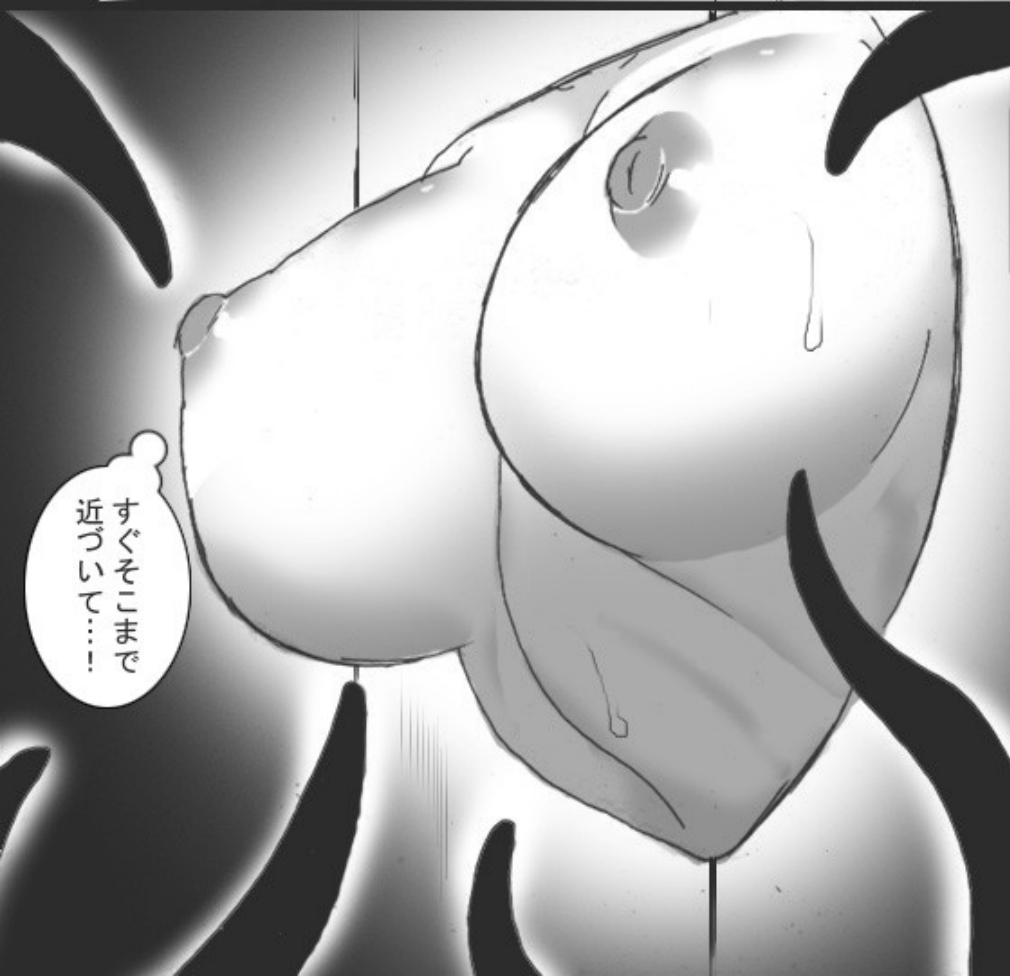
私もあんな表情に
なるのだろうか…？



あんな…
表情に…



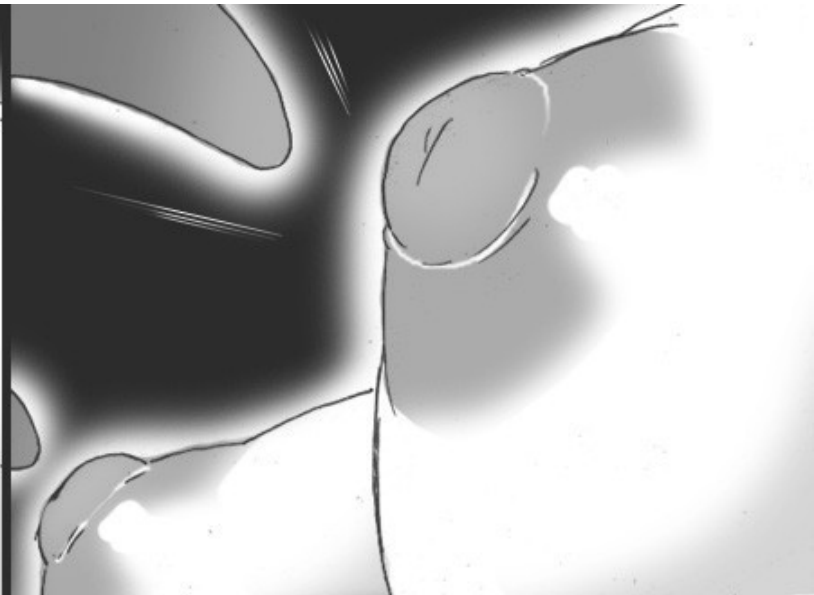
何かが
近づいてきている!?



すぐそこまで
近づいて…!!



這うような音が
こっちに向かって
大きクッ!



これが「ヌシ様」!?

な、何かが
私の乳首に触れて!?



クニ



こんな 悍ましい感触...!

クニ

クニ

こんなものに 身を委ねろと!?

クニ

クニ

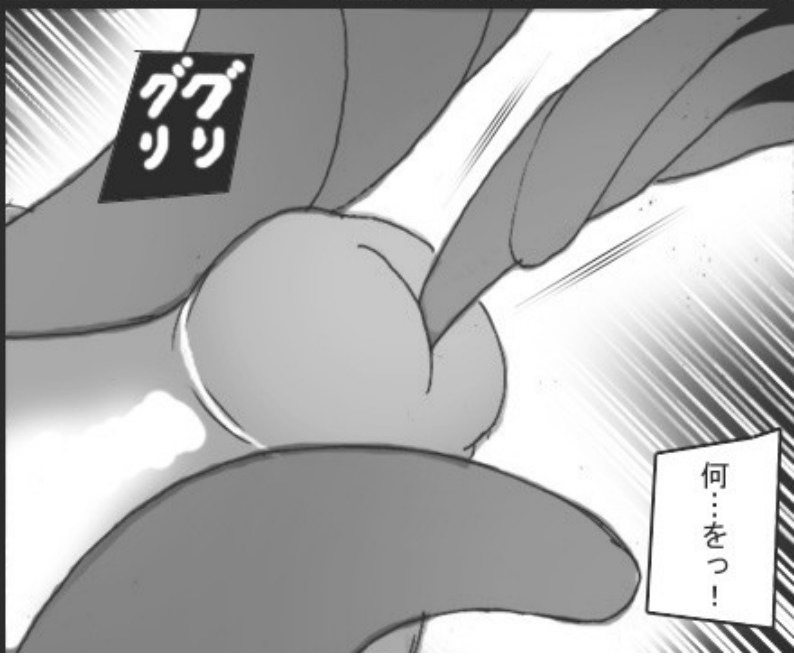
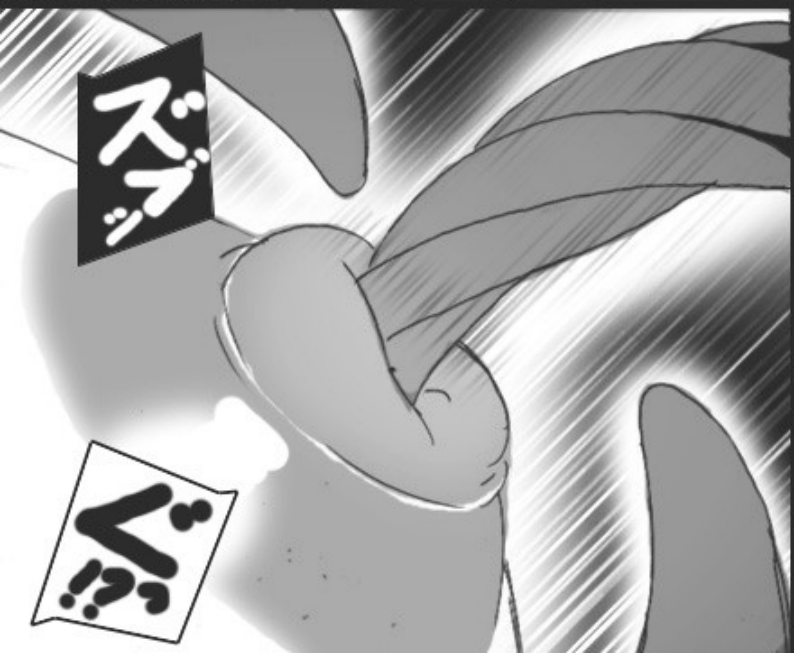


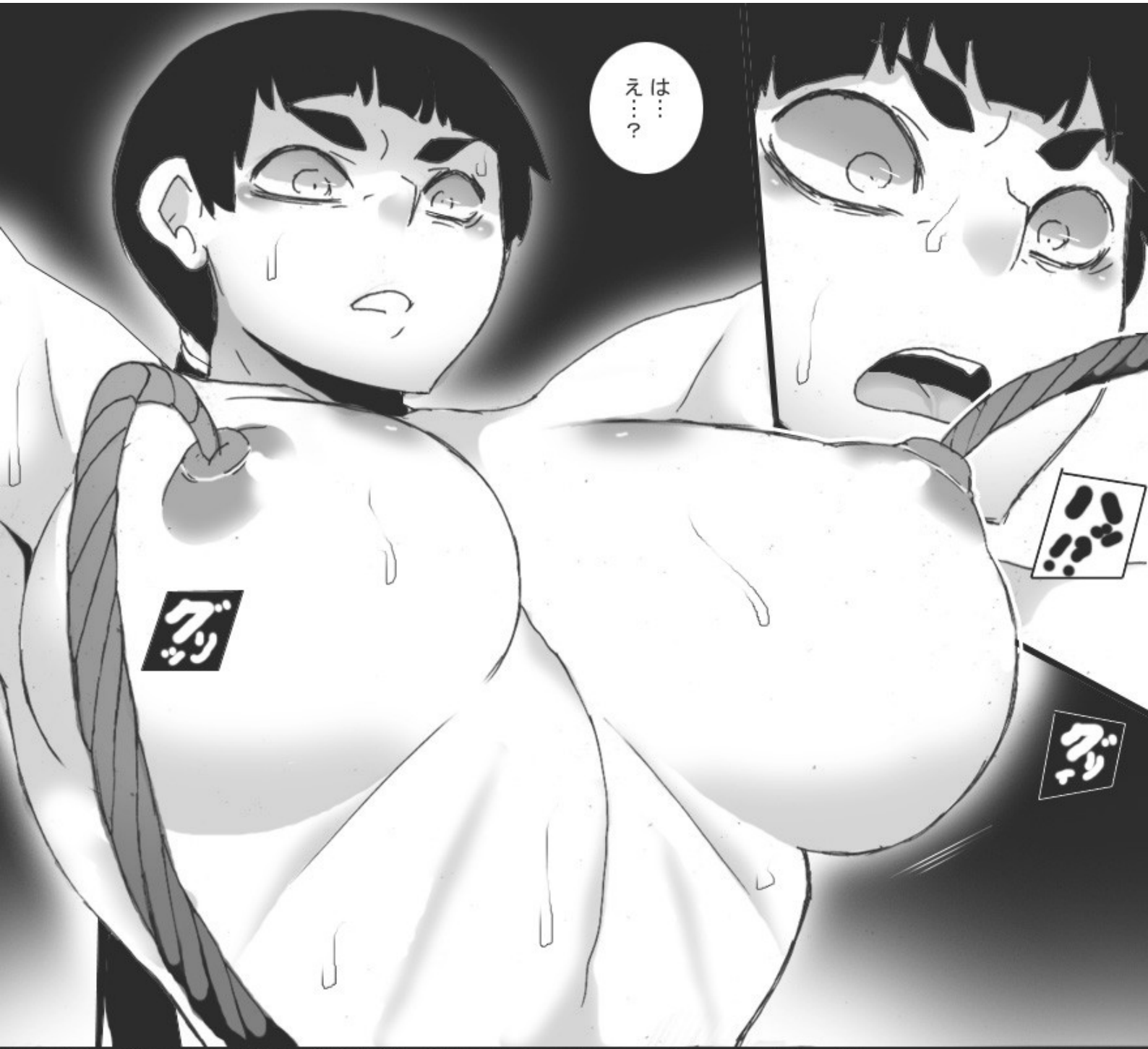
クニ

クニ

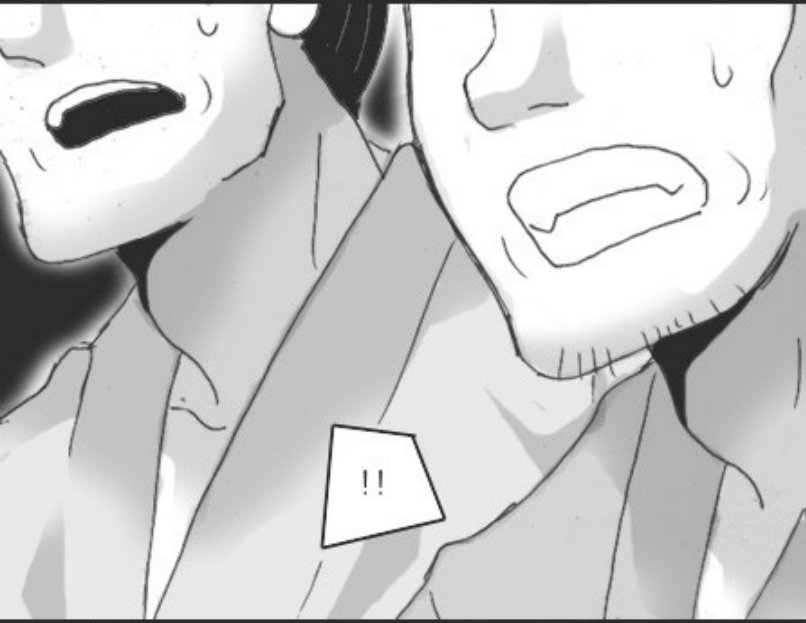
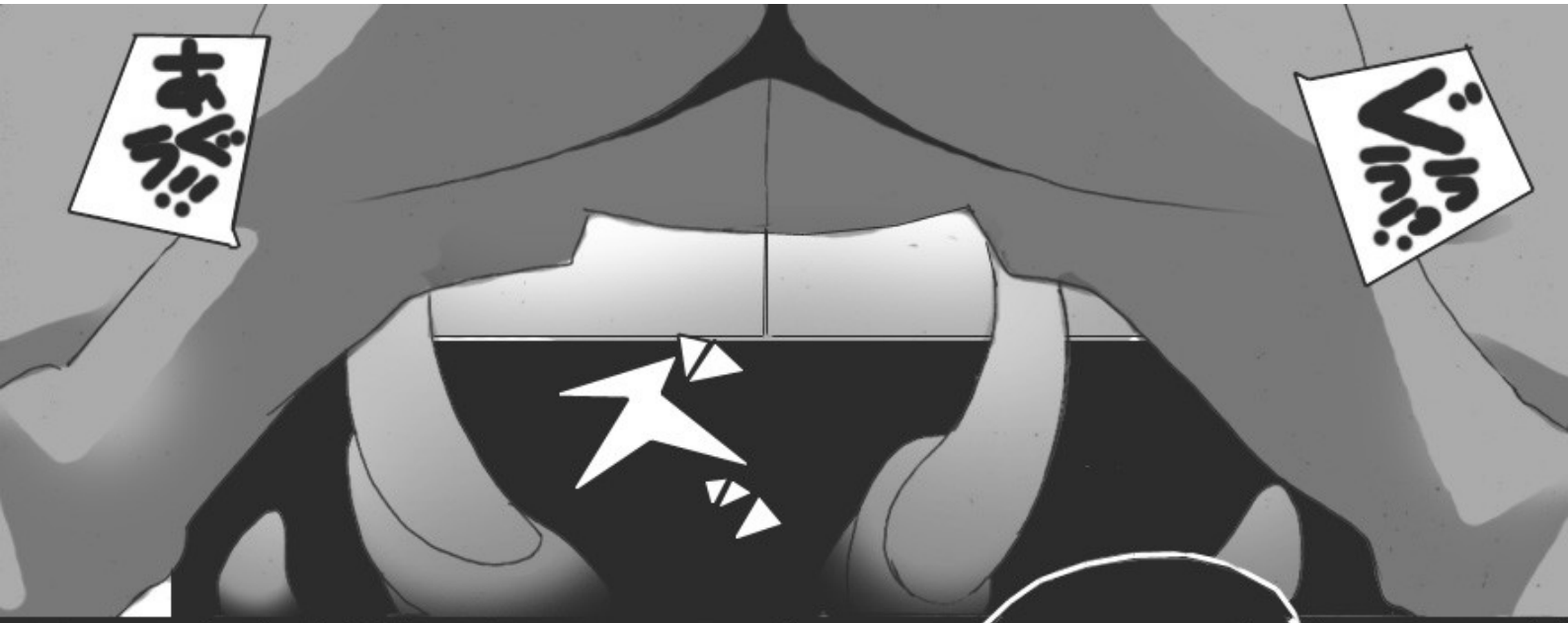
クニ















春、これでお前も
この村の巫女として
又シ様のものとなった

ビュッ

ス

ビュッ



うおぶぶ

キウッ

キウ

キウ

キウッ



さあ、しっかり
又シ様にお前の乳を
吸わせておやり

ビュ



ぶ

ビュ



すっ吸われてる…っ！
私の乳首から
乳の中の母乳を直接
吸い上げられて…っ！

あッ

チクッ

チクッ

あッ

あッ



こ、こんな
こんな事…っ！

チクッ

チクッ

ズッ

あッ

ズッ

あッ



春、お前の年齢なら
あと十五年は巫女として
役目を続けられるだろう



これでこの村は
僕の代は安泰じゃ

